

～第6期川崎区区民会議委員からのひとこと（抜粋）～



- 区民会議は、各分野からの委員で構成されているからこそ、様々な視点からの意見交換ができ、各々の思いを込め、お互いの意見を尊重、理解しあい、前向きに整理・検討してきました。その結果、各部会において成果を収める事ができ、充実した取組がなされたと思っています。
- 「皆の命が安全に守られ、日本人・外国人の人権が大切にされるまちづくり」を目指してきました。区民会議提案が実現し、区の継続事業になり、また、地域で活動されている委員の皆様から多様な経験知を学ぶことができました。今後もこうしたつながりを継続、発展させていくことが重要です。
- 川崎区で起きている問題は何か、行政・各団体・地域が連携した課題解決策を立案、実施することができ、形として残る成果を出せたと思います。今後も、川崎区に住んで良かった、川崎区を誇りに思えるようなまちづくりに協力していきたいと思っています。
- 子どもから高齢者・外国人のだれにも住み良いと感じてもらえる川崎にするという思いで、問題解決に向けて考えてきました。私も身近な所から行動していきたいと思っています。
- 区民会議委員の外国人代表として、すべての区民に見守りやより良い生活、多分化社会の実現に向けて貢献することは私にとってとても名誉なことでした。
- 第1期からさまざまな提案がなされる中で、継続的な取組として実践していることが川崎区区民会議の良さだと思っています。今後、しくみは変わっても、何らかの形で区民が話し合える場があればと思っています。
- 様々な委員の皆様と共に、地域に密着した問題を提起し解決してきた「区民会議」が今期をもって休止となってしまいましたが、地域課題の解決の新たなしくみの構築の検討を注視していきたいと思っています。
- 地域の身近な課題に対して、調査・審議を行い、取組を実践したことは大変勉強になりました。だれもが笑顔で安全・安心に暮らせるまちになるよう、私なりに貢献していきたいと思っています。
- 区民会議委員として、川崎区内にある地域課題解決への糸口を考え行動できたことは、貴重な経験となりました。特に、地域における外国人も含めた住民の見守りやつながりは、今後もますます重要になってくると思いますし、つながりが強くなれば住みやすいまちになると思います。



第6期川崎区区民会議の提案がまとまりました！

平成28・29年度を任期とした第6期川崎区区民会議の活動が終了しました。2年間で計30回以上の会議、フォーラム等の開催を重ね、暮らしやすい地域社会を目指し、地域課題の解決を図るための調査・審議を進めてきました。

平成30年3月19日には、第6期最後の会議が行われ、最終報告書の内容について確認するとともに、2年間の活動の振り返りを行いました。今回の区民会議だよりでは、その内容を紹介します。

■第5期川崎区区民会議委員 市民活動団体の推薦、公募、区長の推薦などで選ばれた20名の区民代表

【第6期川崎区区民会議委員（任期：平成28年4月～平成30年3月）】 (敬称略)

- |                         |                      |                           |
|-------------------------|----------------------|---------------------------|
| 新井 一成(公募)               | 高橋 順子(海風の森をMAZUつくる会) | 埜瀬 晴美(公募)                 |
| ☆新井トキ子(安全・安心まちづくり推進協議会) | 知念ジョア子(区長選任)[外国人市民]  | ○原 千代子(区長選任)[多文化共生・子ども関係] |
| 岩瀬 絹代(公募)               | 塚原 晴美(PTA協議会)        | 朴 昌浩(公募)                  |
| ○浦野 一吉(連合町内会)           | ★戸村 正房(かわさきゆびづつメカ機関) | 峯尾 照(民生委員児童委員協議会)         |
| 江守千恵子(かわさき歴史が'14協会)     | 堂本 典子(川崎商工会議所)       | 森脇 卓郎(区長選任)[高齢者関係]        |
| 木村 一三(まちづくりクラブ)         | 中村紀美子(文化協会)          | 吉澤 義子(保護司会)               |
| 須山 令子(社会福祉協議会)          | 能條 重信(公募)            |                           |

☆委員長 ★副委員長 ○部会長

■審議テーマ 委員の意見、区民アンケートから抽出した地域課題を2つの専門部会で調査・審議

進めよう川崎まちづくり部会

- 《審議テーマ》
- ◆地域防災力の向上
  - ◆自転車事故防止と防犯対策
  - ◆「かわさき」の観光・文化の情報発信

提案

- ①みんなで作ろう地域手作り防災マップ
- ②わたしの防災手帳を活用した防災意識の向上
- ③「交通安全ステッカー」を活用した自転車の交通事故防止対策
- ④「かわさき」の観光・文化の魅力を発信

だれもが住みたいまちをつくる部会

- 《審議テーマ》
- ◆地域による見守り活動の推進
  - ◆子育て支援の充実
  - ◆外国人市民も住みやすいまちづくり

提案

- ⑤「見守り活動事例紹介パンフレット」を活用した取組の推進
- ⑥子ども育成支援団体の交流の促進
- ⑦外国人市民への分かりやすい情報発信



川崎区役所 企画課

〒210-8570 川崎区東田町8番地  
電話 044(201)3267 FAX044(201)3209

区民会議の活動についての情報は、区民会議だよりや市政だより川崎区版のほか、区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」でもご覧になれます。「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録や各期の(中間)報告書なども掲載しています。

【川崎区区民会議ホームページ】

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



進めよう川崎まちづくり部会

提案：みんなで作ろう地域手作り防災マップ

■提案内容

第5期区民会議で作成した手作り防災マップの作成方法をまとめた冊子『地域防災マップづくりのすすめ』を、第6期区民会議では、新たな地域で行った防災マップづくりの実践を踏まえて改訂しました。

今後も、地域手作り防災マップの作成を通じて、自助・共助の大切さを地域に浸透させていくことを提案します。



チェック箇所を大きなマップにまとめる  
(池上新町町内会)

提案：「わたしの防災手帳」を活用した防災意識の向上

■提案内容

第5期区民会議では、「わたしの防災手帳」を作成し、第6期区民会議では、防災訓練等で直接参加者に配布し、その場で記入・作成を体験してもらう実践的な普及活動を推進しました。

今後も、防災訓練等の機会を捉えた体験型等の実践的な取組により普及を進め、各家庭での防災意識の向上を図ることを提案します。



区総合防災訓練での普及活動

提案：「交通安全ステッカー」を活用した自転車の交通事故防止対策

■提案内容

川崎区は、自転車事故が市内で最も多く、自転車事故多発地域に指定されています。第6期区民会議では、自転車事故の防止に向けて、標語入りの「交通安全ステッカー（反射素材）」を地元企業の協力を得て作成しました。

今後、この交通安全ステッカーを交通安全教室や交通安全キャンペーンなどで、配布・貼付し、自転車運転のルール遵守やマナーの実践についての啓発活動に取り組むことを提案します。



作成したステッカー

提案：「かわさき」の観光・文化の魅力を発信

■提案内容

外国人観光客の増加などを見据えて、羽田空港を利用するトランジット（乗り継ぎ）の観光客等を呼び込む方策、区内を回遊する体験型観光、魅力的な施設を効果的に活かす取組等の検討を行うとともに、区の観光・文化資源などの魅力を区内外へ発信していくことを提案します。



観光案内所や行政サービスコーナーなどの複合施設「かわさき きたテラス」  
(平成30年2月17日オープン)

だれもが住みたいまちをつくる部会

提案：「見守り活動紹介パンフレット」を活用した取組の推進

■提案内容

第5期区民会議で作成した「見守り活動事例紹介パンフレット」第1弾に引き続き、第6期区民会議では、普及・啓発の取組の充実に向けて「見守り活動事例紹介パンフレット」第2弾を作成しました。

今後も、パンフレットを活用して、高齢者・子ども・外国人等の見守り活動の広がりに向けた普及・啓発に取り組むことを提案します。



区内3団体の見守り活動事例や外国人市民の見守り活動などを掲載

提案：子ども育成支援団体の交流の促進

■提案内容

第6期区民会議では、大師地区での「子ども育成支援団体情報交換会」の継続的な開催に向けた土台作りに取り組みながら、3回目となる情報交換会を開催しました。

今後も、地域全体で子どもを支えていくために、大師地区で情報交換会を継続開催するとともに、区内他地区でも同様の情報交換会の開催を広げていくことを提案します。



情報交換会（ワークショップ）では、活発な意見交換が行われました

提案：外国人市民への分かりやすい情報発信

■提案内容

第6期区民会議では、外国人市民や外国人市民を支える活動をしている方からの生の声を聞くために、「外国人市民を見守る活動について考え、話し合うフォーラム」を開催しました。

今後、各種相談窓口や外国人市民に必要な情報を一体的に掲載したパンフレット等を作成するとともに、様々な機会を捉えて配布するなど、外国人市民に伝わる広報を効果的に行っていくことを提案します。



「外国人市民を見守る活動について考え、話し合うフォーラム」の開催